



まちづくりNEWS

第4号
令和5年2月発行

●名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会 全体会を開催しました



第3回全体会の様子

2月14日(火) 17:30 から中部市民館にて第3回全体会を開催しました。17名の権利者の皆様にご参加いただきました。全体会では、名鉄刈谷市駅前広場の検討状況について市から説明がありました。また、URリンクージュよりまちづくり協議会の意見を反映した「まちづくりプラン」の修正案について説明を行いました。

協議会の議題

1. 名鉄刈谷市駅前広場について
2. 刈谷市駅前地区まちづくりプラン(案)の見直し・修正について
3. その他

1. 名鉄刈谷市駅前広場について

現状の駅前広場の課題に対応した新設駅前広場計画について、刈谷市より現時点での検討案の説明がありました。ただし、警察協議等でまだ若干の見直しはあるとのこと。

●現状の駅前広場の課題

- ・駅前広場利用と通過交通が混在している
- ・通過交通がいったん駅前広場内を通過する交通形態となっている
- ・歩行者の安全性向上を図る必要がある
- ・歴史文化交流ゾーンの玄関口として、活気とにぎわいを感じることでできる駅前空間の創出を図る必要がある
- ・交通結節点の機能強化が必要である

●検討案の内容

- 新栄線を廃道し、駅前広場空間の拡張
- 下屋敷線を主動線、中町線を従動線とし、中町線の幅員構成を見直し歩道を拡幅
- 駅前広場利用と通過交通を分離
- 駅前広場内の歩道空間を広く取る
- 優建事業で駅前街区に設けられる見込みの広場状空地、名鉄高架下と一体的につながりを持たせることで、広がりのある空間を創出
- 駅前広場内にバス停を集約化し、タクシー及び一般車乗降場を整備

2. 刈谷市駅前地区まちづくりプラン(案)の修正について

第2回全体会で提案させていただいた「まちづくりプラン(案)」を地権者のみなさまの意見を反映して見直し・修正を行いました。

- 施策①：地域住民や来訪者の利便性を向上させる施設の整備や、地域のにぎわいの基となるまちなか居住を推進する住宅の整備を目指す**
- 施策②：駅及び駅周辺施設利用者のための駐車場を整備する**

意見

- ・アンケートをではいろいろな施設の希望があり、たくさん取り入れられると暮らしやすい街になるでしょう。
- ・高いマンションができていて、人が群がる景色が見えない。
- ・散歩がてらフラッと立ち寄れる場所になって欲しい。
- ・食事やお茶等もショッピングモールのフードコートのように色々なお店があり楽しく選べたらと思います。
- ・ファミレスや回転ずしのような集客力がある店など出店してもらえたらと思う。
- ・駐車場を多くつくて、駅の廻りから来る人が来やすいようにして欲しい。



【取組例の見直し】※赤字:見直し部分

- ・共同化事業を推進し、共同化ビルに住戸を整備するほか、低層部には生活を支える施設を誘導する。
- ・誘導すべき施設の検討においては、駅利用者等アンケートの結果を尊重し、駅利用者や施設利用者に配慮した計画とする。

- 施策③：円滑な交通形態への改善を図るため道路の整備を進め、刈谷市駅東側と駅前エリア、銀座エリアまでの連続性のあるまちなみの形成を目指す**
- 施策④：交通結節点としての機能強化を行い、駅利用者等の利便性と安全性の向上を図る**

意見

- ・賑わい軸として歩いて楽しい歩行空間を整備する方向性に賛成。優建入居者だけでなく、パークアンドライド、駅周辺施設利用者用の駐車場も確保した方がよいと思う。
- ・高齢者も多いので、車を使わずとも利用出来たら楽しいと思う。
- ・刈谷市駅から刈谷市体育館やグラウンドに行くみなくなるバスの整備や待ち合わせ場所の目印(例、かつなり君人形など)の整備
- ・寺院、公園、駐車場は夜暗くなり、怖い場所になりがち



【取組例の見直し】※赤字:見直し部分

- ・電線類の地中化、歩道の段差解消、並びに共同化事業による壁面後退を誘導することにより、歩きやすい歩道や街灯整備を図る。
- ・道路と駅前広場を分ける形で再整備するとともに、駅前広場内にバス停を集約化し、近隣施設を回遊できる交通手段を検討する。

名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会

施策⑤：歴史文化交流ゾーンの玄関口として、既存の寺院や公園を活かした空間や景観づくりを目指す

意見

- ・歴史文化ゾーンで当初の市の提示した寺を中心としたイメージはあまり評価できない。
- ・歩道が広がった部分をインターロッキングなど歴史的な舗装にして、歴史的な空間にして欲しい。



反映

【取組例の見直し】※赤字:見直し部分

- ・デザインコードの策定等により、地区全体で調和のとれた統一的な色彩・デザインとし、**歴史文化交流ゾーンとしての和モダンなデザイン**を誘導する。
- ・各街区の空地、寺の**境内及び公園等**を提供し、**憩い・交流の場**として活用する。

景観づくりのイメージ



歩道の舗装イメージ



建物デザインイメージ

街並み・空間イメージ

主な意見（多数意見の抜粋）

- ・まちのテーマを決めて統一された感があると良いと思う。
- ・優建と調和したまち並みであれば良い。現案の近代的なデザインの優建建物と歴史にギャップを感じる。
- ・緑の多い明るい見通し良い場所になったらと思う。
- ・代官山のツタヤのように犬の散歩コースとかペットショップが入れてもいいかも。
- ・多くの女性が望んでいるのは駅前まちづくりでスーパーができることと思う。それにより人が集まり、カフェ、パン屋、ATM が必然的にできると思う。
- ・高校が多く、子どもたちのためのカラオケなどがあればいいと思う。
- ・コンビニがなくなったので、立ち寄れる場所があればいいと思う。



反映

【空間整備概要】※赤字：修正部分

にぎわい軸

- ・**亀城公園・銀座エリアに繋がる連続性あるにぎわいの軸として、にぎわいを誘導する施設を誘導する**

駅前広場

- ・**道路と駅前広場を分ける形で再整備し、利便性・安全性を向上させる**

交流広場

- ・**建物の共同化に伴い生まれたスペースをまちなかの活気や交流の機会を創出するためのオープンスペースとして整備する**

具体例：イベント広場、休憩スペース、キッチンカーなど

共同化

- ・**周辺環境に配慮し、土地の有効利用・高度利用を図り、防災性の高い街区へと改善し、魅力あるまちの再生を目指す**

5. その他（主な質疑等）

質問：説明のあった駅前広場ができる程のスペースはあるのか？

回答：名鉄の青空駐車場も取り込んで駅前広場を整備する計画としています。

質問：駅前広場の中に駐車場を整備することはできないか？

回答：駅前広場には一般車乗降場を2台程度確保する計画としておりますが、用地の都合上、駐車場を整備することが困難であるため、優建の街区内や名鉄高架下に駅利用者用のコインパーキングなどを整備できないか検討が必要と考えています。

質問：A街区の優建事業は進んでいるみたいだが、B～D街区の進捗状況は？

回答：現在、個々の権利者と面談をしながら、開発意向等を確認しているところですので、開発区域の設定や建物計画の作成については、もう少し時間をください。

本ニュース・活動に関するご質問、ご意見などございましたら、下記までご連絡ください。

〈問い合わせ先〉

●名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会 理事長 伊藤節夫（ジュエリー伊藤）

TEL：0566-21-3124

●名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会 事務局 (株)URリンケージ 事業計画部 事業計画課 担当：鶴飼、渡辺

TEL：052-957-1260